



すくすくだより

令和7年6月1日
三永太陽保育園
乳児クラス第1号

新しいクラスでの生活に慣れ、子ども達は毎日元気いっぱい遊んでいます。気持ちの良い風を受けながら、園庭や人工芝で思いきり体を動かしたり、お部屋の中で好きな遊びを見つけたりして楽しいを発見中です。

いちご組の様子

初めての保育園で涙が出ていた子ども達でしたが、担当保育士に抱っこしてもらったり、一緒に遊び、食事をし、生活する中で少しずつ慣れ、安心して過ごせるようになってきました。今では“楽しい”“嬉しい”のかわいい笑顔がたくさん見せてくれています。お気に入りの場所や好きな玩具もできて、自分からずりばいやはいはいで室内や人工芝を移動して楽しむ姿も増えてきています。今後も安心して過ごせるよう温かい雰囲気の中で子ども達と一緒に楽しんだり、喜び合ったりしながら成長を見守っていききたいと思います。



りんご組の様子

りんご組になって2か月。新しい環境や保育士にも慣れ、毎日楽しく過ごせています。靴を履いて園庭で遊ぶようにもなりました。広い園庭を走ったり、斜面の登り降りをしたり、三輪車に乗ったりと、好きな遊びを見つけて楽しんでいます。靴も自分で出して履いてみようとしたり、脱いだ靴を自分の靴箱に入れたりして意欲的に生活しています。1つ1つの成長を喜びながら楽しく過ごしていきたいです。

もも組の様子

もも組に進級して2か月。新しい保育士や環境にも慣れ、安心して過ごす姿が見られるようになりました。何でもやってみたい子ども達。外遊び前の準備では、靴下や靴を「こう？」と確認しながら自分で履き、出来た時には「できた！」と嬉しそうに教えてくれます。ごっこ遊びでは赤ちゃん人形のお世話をしたり、お医者さんになって診察したりと、友達と関わり合いながら遊んでいます。保育士や友達との関わりを喜びながら、たくさんの遊びを経験していけたらと思います。



～“できたね！”は魔法の言葉～

大きくなってできることが増えることも大事ですが、小さいうちから「自分でできた」と思える体験はとっても大切なこと。乳児期の成功体験は、子どもが自分の力で何かを達成したり、新しいことを経験したりした時に感じる満足感や達成感になります。

初めて寝返りをうつ、自分で食べ物をつかんで食べる、初めての言葉を話す、帽子を自分で被る等、これらの「できた」と感じる体験一つ一つは子どもたちの自己肯定感を育み、将来の成長につながると言われています。

時間がなかったり、ついついやってあげたい気持ちもあるのですが、可能な時には頑張る姿を見守ってあげる時間をもったり、できないところをそっと支えてあげるだけでも、子ども達にとっては「自分でできたぞ！」という気持ちに繋げることができますよ。その際に「できたねえ」と一言添えてあげるだけで、子ども達はもっと満足感や充実感を満たすことができますよ。